



シラバス参照

講義名	マンガ産業論		
(副題)			
開講責任部署	アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科		
講義開講時期	第3・第4学期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1時限
校地	古町ルフルキャンパス		
必修・選択	選択		
対象学科・年次			

担当教員

氏名

◎ 成田 兵衛

概要

本科目では産業的視点から、非常に多様性のあるマンガというコンテンツを取り巻く状況を概観し、国内外のマンガ市場における収益構造モデルを学修する。そこで身に着けた基礎知識をもとに、今後のマンガ産業がどのように発展または変換をとげるのかを考える。すでに出版からWeb配信へと大きく舵を切りつつあるマンガ産業において、それでも出版という形が果たす役割と利点は存在し得るのか、あるいは海外で一般的になりつつあるWeb配信やスマートフォンで読む縦スクロールマンガの台頭が、国内でもマンガ産業においてかつてなかった新たな制作体制を大手出版社及びコンテンツ制作会社が立ち上げ担う産業モデルへと変化するのか、海外のマンガ産業モデルをも参考にしながら学修する。

学習目標

1. マンガを産業としての視点から全体像とビジネスモデルを理解する。
2. マンガの持つ力は変わらないが、マンガを読者に届ける形は大きな転換点を迎えており、時代の変化と読者の需要を理解する。
3. マンガの国際競争力を高め、国産マンガ市場をいかにして世界に拡大していくかを分析できる知識考察力を身に着ける。
4. 新たなビジネスモデルの元で、マンガを制作し販売するための対応力を身に着ける。

授業計画表

第1回	授業計画又は学習の主題	イントロダクション 受講者の知識の確認、授業の進め方と成績評価方法のアナウンス産業としてのマンガの現状把握
	学習目標番号	1
	学習方法・学習課題又は備考	イントロダクション 授業目的の説明等
第2回	授業計画又は学習の主題	雑誌マンガ時代のビジネスモデルと、新たなマンガコンテンツ産業ビジネスモデルの違いと変化
	学習目標番号	1・2
	学習方法・学習課題又は備考	講義
第3回	授業計画又は学習の主題	マンガ出版産業を軸としたマルチメディア展開、マーチャンダイズについて
	学習目標番号	1・2
	学習方法・学習課題又は備考	講義
第4回	授業計画又は学習の主題	大手出版社がマンガ産業に果たしてきた役割 (1) 小学館 出版社としての、マンガ事業部への位置づけとその変化

学習目標番号	2・3・4
学習方法・学習課題又は備考	講義
第5回	授業計画又は学習の主題 大手出版社がマンガ産業に果たしてきた役割（2） 集英社 少年ジャンプを中心とした王道マンガビジネスモデル
学習目標番号	2・3・4
学習方法・学習課題又は備考	講義
第6回	授業計画又は学習の主題 コンテンツを生み出す核となる「マンガ家」の存在 業務形態に生じ始めている変化
学習目標番号	1・2・3・4
学習方法・学習課題又は備考	講義
第7回	授業計画又は学習の主題 メディアの変遷によるマーケットの変化
学習目標番号	2・3・4
学習方法・学習課題又は備考	講義
第8回	授業計画又は学習の主題 出版社が紙媒体から離れて進めようとしているビジネスモデルの実態
学習目標番号	2・3・4
学習方法・学習課題又は備考	講義
第9回	授業計画又は学習の主題 日本のマンガコンテンツと世界市場（1） 北米でのマンガビジネス その始まりと現状
学習目標番号	2・3・4
学習方法・学習課題又は備考	講義
第10回	授業計画又は学習の主題 日本のマンガコンテンツと世界市場（2） ヨーロッパのマンガビジネス フランスから中東まで
学習目標番号	2・3・4
学習方法・学習課題又は備考	講義
第11回	授業計画又は学習の主題 大日本印刷とファンタジスタが共同開発し、世界への提供を始めたサブスクリプションWebマンガ配信事業のビジネスモデル（1） Manga Planet
学習目標番号	2・3・4
学習方法・学習課題又は備考	講義
第12回	授業計画又は学習の主題 大日本印刷とファンタジスタが共同開発し、世界への提供を始めたサブスクリプションWebマンガ配信事業のビジネスモデル（2） futekiya
学習目標番号	2・3・4
学習方法・学習課題又は備考	講義
第13回	授業計画又は学習の主題 海外で活躍するマンガ家たち マンガイラストの可能性について
学習目標番号	2・3・4
学習方法・学習課題又は備考	講義

第14回	授業計画又は学習の主題	マンガ産業に関わる地域行政の取り組み
	学習目標番号	2・3・4
	学習方法・学習課題又は備考	講義
第15回	授業計画又は学習の主題	省庁による輸出産業コンテンツとしてのマンガと施策の流れ
	学習目標番号	2・3・4
	学習方法・学習課題又は備考	全講義の総括を含む 期末レポートの告知

使用図書

テキスト一覧				
	教科書 (必ず購入)	なし		
	参考書	①電子書籍ビジネス調査報告書 2019 ②2019年版 出版指標 年報 ③アメリカに日本のマンガを輸出する	①インプレス総合研究所 落合早苗 ②出版科学研究所 ③松井剛	①株式会社インプレス ②出版科学研究所 ③有斐閣 ①2019/7/31 ②2019/4/25 ③2019/3/14
	その他の資料	その都度提示		
準備学習(予習・復習等)	予習としてその前の授業で指定する範囲の資料や教科書を事前に読み、必要に応じ図書館等で専門用語の意味等を調べ理解しておくこと。学習した内容について各種文献等を用いて検討し、理解を深めること。			
評価方法	期末レポートの評価点 40% 授業内の小課題評価点 35% 各回コメントペーパー 25% 上記3項目の総合評価			
履修上の留意点	・履修条件：「マンガ作家研究」の単位を修得済みの者 ・評価について：理解が一定の水準に達していることを確認する目的で、各単元の進行に合わせ、適宜、小レポート課題、若しくはコメントペーパーの提出を求める。また、授業終了後には論述形式の期末レポートの提出を求め、上記の3項目の総合評価とする。			

[ウインドウを閉じる](#)

